

癌化学療法輸液約束処方 膾3

癌種 膾臓癌
レジメン名 膾3 GNP

薬品名 (商品名)	一般名	略号	標準投与量	投与経路	投薬期間	休薬期間	1クール期間
アブラキサン	アルブミン懸濁型 パクリタキセル	nabPTX	125 mg/m ²	div	DAY1, 8, 15	1週	28日間
ゲムシタビン	ゲムシタビン	GEM	1000mg/m ²	div	DAY1, 8, 15	1週	

【DAY 1,8,15】

- ① NS 50 ml + デキサート1V / 5分
- ② NS 50 ml + グラニセトロン1A / 5分
- ③ NS 50 ml / 5分
- ④ NS 50 ml + アブラキサン _____ mg / 30分 フィルターなし 製造番号確認
最終濃度5mg/ml に調製
- ⑤ NS 50 ml / 5分
- ⑥ NS 100 ml + ゲムシタビン _____ mg / 30分 時間厳守
- ⑦ NS 50 ml / 5分

【休薬基準】

DAY1 : neutro ≤ 1500/mm² は中止
 DAY8, 15: neutro < 1000/mm², pLt ≤ 5万/mm², FN(-), 非血液毒性 ≥ G2(口内炎、下痢、末梢神経障害) は中止
 注意: 添付文書では neutro ≥ 500/mm² で投与可: 減量を考慮し慎重投与。

【減量基準】DAY1

好中球 < 500/mm² が7日以上
 血小板 < 5万/mm²
 発熱性好中球減少症 ≥ Grade3
 末梢神経障害 ≥ Grade3 (アブラキサンのみ減量)
 皮疹 ≥ Grade2/3
 口内炎・下痢 ≥ Grade3

【減量基準】DAY8,15

好中球 > 1000/mm² かつ 5万/mm² ≤ 血小板 < 7.5万/mm²

※身体状況、副作用などにより、2投1休またはbiweeklyの投与もありうる

